

IBM Digital Analytics Enterprise
Dashboard ユーザー・ガイド



目次

IBM Digital Analytics Enterprise Dashboard	1
Enterprise Dashboard の概要.....	1
ダッシュボードの作成および表示.....	1
既存のダッシュボードの表示.....	1
ダッシュボードの作成.....	1
日付範囲の調整.....	2
データ・アクセス.....	2
モジュール別のダウンロード.....	2
ダッシュボード別のダウンロード.....	3
すべてのモジュールのダウンロード.....	3
API データ・アクセス.....	3
データ・アクセスの制御.....	3
サイト・グループの作成.....	3
既存のグループの変更.....	4
既存のグループの削除.....	4
カスタム・ビュー.....	4
パーソナル・ビューの保存.....	4
カスタム・ビューの保存.....	5
ダッシュボードでのサイトの選択.....	5
その他の連絡先情報.....	5
サポート.....	7
特記事項	7
商標.....	9
製品資料に関するご使用条件.....	9
プライバシー・ポリシーに関する考慮事項.....	9

IBM Digital Analytics Enterprise Dashboard

IBM® Digital Analytics Enterprise Dashboard は、エンタープライズ全体にわたるリアルタイム情報および履歴情報のビューを作成するためのマルチサイト・インターフェースを提供します。

Enterprise Dashboard の概要

IBM Digital Analytics Enterprise Dashboard は、エンタープライズ全体にわたるリアルタイム情報および履歴情報のビューを作成するためのマルチサイト・インターフェースを提供します。

Enterprise Dashboard は、以下の機能を提供します。

- サイト・パフォーマンスの比較に任意の数のクライアント ID を含められる機能を使用して、分析の幅を拡大する。
- 必要なインサイトを得るために必要な指標をすべて選択する。
- 比較機能とソート・オプションを使用して分析を単純化する。
- さまざまなマーケティング・チャンネルの値を表示するビューを展開および省略する。
- パフォーマンス・データへのアクセスを制御する。
- チームおよび個人が関連するデータのみを表示することを可能にする。
- ダウンロード機能を使用してデータにオフラインでアクセスする。
- 他の IBM Digital Analytics アプリケーションにデータをエクスポートする。

ダッシュボードの作成および表示

IBM Digital Analytics Enterprise Dashboard を使用すると、指定された時間フレームの中でダッシュボードの表示、新規ダッシュボードの作成、および既存のダッシュボードの表示を行うことができます。

既存のダッシュボードの表示

「ビューとモジュール (Views and the Modules)」を使用すると、既存のダッシュボードとモジュールを表示できます。

手順

1. 「ビューとモジュール (Views and Modules)」のハンドルの上にマウスを合わせます。「ビューとモジュール (Views and Modules)」が表示されます。
2. 表示するビューを選択します。ダッシュボードに現在表示されているモジュールがクリアされ、選択したモジュールが表示されます。
3. 表示するサイトを選択します。
4. カレンダー期間を選択します。

ダッシュボードの作成

ダッシュボードを新規作成すると、選択したサイトからのモジュール指標を表示できるようになります。

手順

1. 「クリア」をクリックして既存のモジュールをクリアします。
2. 「ビューとモジュール (Views and Modules)」のハンドルの上にマウスを合わせます。「ビューとモジュール (Views and Modules)」が表示されます。
3. モジュール・アイコンをダッシュボードにドラッグします。
4. 表示するサイトを選択します。

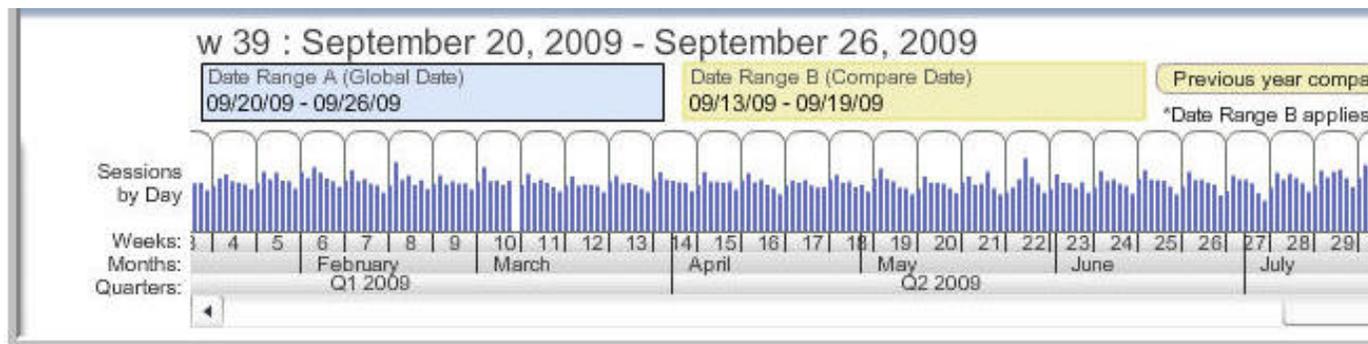
5. モジュール指標を選択します。
6. 「保存」をクリックします。

日付範囲の調整

2つの異なる日、週、月、または四半期間からのデータを比較するために、IBM Digital Analytics Enterprise Dashboard によって表示されるデータの期間を制御できます。

手順

1. 表示するデータの期間を選択するために、右側にあるオプションを使用します。深夜 12 時から累積したデータを表示する場合には、「今日」を選択します。



デフォルトでは、データが完全に使用可能になっている最後の期間が表示されます。

2. 2つの日付範囲ボックスを使用して、どちらの日付範囲を適用するかを選択します。「日付範囲 A」は、すべてのモジュールによって使用されるデフォルトの選択肢です。
 - a) 「日付範囲 A (グローバル日付)」をクリックします。次に、表示する日付期間をクリックします。ズームインまたはズームアウトして特定の日付範囲を選択することもできます。その場合には、プラス (+) またはマイナス (-) の虫眼鏡アイコンをクリックします。また、カレンダーの下部にあるスクロール・バーが対象としている期間の開始時点と終了時点までスクロールできます。
 - b) 2つの日付期間を比較するために、「日付範囲 B (日付比較)」を使用します。「日付範囲 B (日付比較)」をクリックして選択します。次に、表示する日付期間の上をクリックします。
 - c) 「日付範囲 A (グローバル日付)」の前年の同じ期間に「日付範囲 B (日付比較)」を自動的に設定するために、「前年比」をクリックします。

データ・アクセス

IBM Digital Analytics Enterprise Dashboard では、アプリケーションのユーザー・インターフェースの外部でデータにアクセスし、データを配布するためのいくつかのオプションが用意されており、さらにデータにアクセスするための複数のオプションが提供されています。

モジュール別のダウンロード

モジュールを個別にダウンロードすると、オフライン中にモジュールのデータを表示し、変更することができます。

手順

ダウンロード・アイコンをクリックすると、CSV ファイルとして保存されたオフライン・モジュールにデータが格納されます。

ダッシュボード別のダウンロード

ダッシュボードを個別にダウンロードすると、現在のダッシュボード・ビューに含まれるすべてのモジュールのデータを表示し、変更することができます。

手順

「ダッシュボード別のダウンロード」をクリックすると、現在ロードされているダッシュボード・ビュー内で構成されているすべてのモジュールのデータがダウンロードされます。データは、単一のタブから成る Excel ファイルとして保存されます。

すべてのモジュールのダウンロード

すべてのモジュールをダウンロードすると、すべての構成済みダッシュボード・ビュー内のすべてのモジュールに含まれるデータを表示し、変更することができます。

手順

9 個までのダッシュボード・ビューのデータを単一のダウンロード・ファイルにダウンロードできます (標準ビューが 3 個、パーソナル・ビューが 5 個、および未保存のダッシュボードが 1 個)。データは、それぞれが別個のダッシュボードに対応する、複数のタブから成る 1 つの Excel ファイルとして保存されます。1 つのダッシュボードに含まれる各モジュールのデータは、参照しやすいように、そのタブ内で垂直方向にグループ分けされます。

API データ・アクセス

Enterprise Dashboard で利用可能なすべてのデータについては、アプリケーションをロードしなくても、API を使用してアクセスできます。

アプリケーション内のすべてのモジュールのすべての指標データにアクセスするには、Enterprise Dashboard API を使用します。API は、「すべてダウンロード」とは異なっています。後者でデータにアクセスする場合には、指標とモジュールがアクティブなダッシュボード・ビューにあることが必要です。

データ・アクセスの制御

Enterprise Dashboard の「**サイト・グループを管理**」機能では、IBM Digital Analytics 内のユーザー・グループ・レベルで Enterprise Dashboard におけるデータへのアクセスを制御できます。

このタスクについて

このレベルのアクセス権は、Enterprise Dashboard アプリケーションにおいて個別のユーザー・アカウントの認可されたアクセス権限のレベルに適用されます。「**サイト・グループを管理**」機能を使用して、多様なサブサイト・アカウントへのアクセス権限を持つアカウントを指定してください。

サイト・グループの作成

サイト・グループを新規作成して、ユーザー・グループにアカウントを割り当てます。

手順

1. 「**新しいサイト・グループを作成**」を選択し、「**新規サイト・グループ名**」に新規のサイト・グループの名前を入力します。
2. そのグループが Enterprise Dashboard で表示できるサイトを指定するには、「**表示可能なサイト**」で適切なサイトを選択します。
3. 指定したサイト・アクセス構成にバインドするアカウントを選択するには、その構成を 1 つ以上の既存ユーザー・グループに適用します。
4. サイトおよびユーザー・グループを選択したら、「**作成**」をクリックしてサイト・グループ構成を新規作成します。

既存のグループの変更

Enterprise Dashboard では、ユーザー・グループのサイトを追加したり削除したりできます。

手順

1. 「**サイト・グループ名**」で既存のグループを選択します。
2. Enterprise Dashboard でグループ化するサイトを追加または削除するために、「**表示可能なサイト**」で適切なサイトを選択します。
3. 1つ以上の既存のユーザー・グループに構成を適用することによって指定したサイト・アクセス構成にバインドするアカウントを選択します。
4. サイトおよびユーザー・グループを選択したら、「**作成**」をクリックしてサイト・グループ構成を更新します。

既存のグループの削除

適切なサイトを選択することによって、Enterprise Dashboard からグループを削除できます。

手順

「**サイト・グループ名**」で既存のグループを選択して、次に「**削除**」をクリックします。

カスタム・ビュー

カスタム・ビューを作成すると、選択したモジュールからの指標を使用してサイトを分析できるようになります。

ペインの上部に事前設定ビューおよびパーソナル・ビューのリストが表示されます。5つの**パーソナル・ビュー**は、デフォルトで空になっています。任意のビューのタイトルをクリックすると、ダッシュボードの現在の内容がそのビューで置き換えられます。

ペインの残りの部分にはモジュール・アイコンが含まれています。モジュールは、それぞれが独立しているカスタマイズ可能なデータ単位であり、データ・セットの表示に使用できます。モジュール・アイコンをビューの上にドラッグすると、デフォルトの指標を持つモジュールを生成できます。

パーソナル・ビューの保存

カスタム・ビューを作成する際には、パーソナル・ビューを5個まで保存できます。最初に表示されるビューは、事前設定ビューです。事前設定ビューは編集できません。2番目のグループのビューは、個人で使用するためのものです。

手順

1. 「**ビューとモジュール (Views and Modules)**」を開きます。
2. 「**保存**」をクリックします。
3. 変更を加える既存のパーソナル・ビューの名前を「**現在の名前**」リストから選択します。
4. 新規名を「**名前を付けて保存 (名前の変更)**」ボックスに入力します。
5. 「**保存**」をクリックします。

タスクの結果

新規ビューがリストされます。

カスタム・ビューの保存

カスタム・ビューは、カスタマイズした後で保存できます。カスタム・ビューの定義およびアクセスは、「ビューとモジュール (Views and Modules)」タブから行えます。

手順

1. 画面の右上にある「保存」をクリックします。
2. 「現在の名前」リストで、このビューのベースにする既存のパーソナル・ビューの名前を選択します。
3. 「名前を付けて保存 (名前の変更)」フィールドに新規の名前を入力します。異なる名前を入力しない場合には、現在のビューが置換されます。
4. 「保存」をクリックします。

タスクの結果

新規ビューが「パーソナル・ビュー」の下のリストに追加されるか、または既存のビューが置換されます。

ダッシュボードでのサイトの選択

ダッシュボード・グラフに表示するサイトとテーブル内でサイトを表示する順序を選択できます。

このタスクについて

表示されるサイトを選択するには、次のようにします。

手順

1. 「ビューとモジュール (Views and Modules)」を開きます。
2. サイトを選択します。すべての Enterprise Dashboard モジュール内で表示する必要がある各サイトの横にあるチェック・ボックスを選択します。表示する順序を変更するには、サイトを「サイト選択」にドラッグします。
3. 「適用」をクリックします。

タスクの結果

ダッシュボードに表示されるすべてのモジュールは、変更を反映して即座に更新されます。

その他の連絡先情報

製品の改善に関するご意見は、IBM (cm_feedback@us.ibm.com) にご連絡ください。

製品に関して支援が必要な場合は、IBM お客様サポート・センター (<https://support.ibmcloud.com>) にお問い合わせください。

また、お近くの IBM 営業所にご連絡いただくこともできます。

米国	
IBM 1001 E Hillsdale Boulevard Foster City, CA 94402 フリー・ダイヤル: 1.866.493.2673	IBM Austin 11501 Burnet Road Building 905, Floor 2 Austin, TX 78758-3400 フリー・ダイヤル: 1.866.493.2673

<p>IBM Dallas 750 W John Carpenter Freeway Irving, TX 75039 フリー・ダイヤル: 1.866.493.2673</p>	
ヨーロッパ	
<p>IBM United Kingdom Limited 3 Furzeground Way Stockley Park Uxbridge Middlesex UB11 1EZ U.K. 電話: 020 8867 8003</p>	<p>IBM GmbH Beim Strohhause 17 D-20097 Hamburg Germany 電話: 0800-180-2597</p>
<p>IBM France 17 Avenue de l'Europe 92275 Bois Colombes Cedex France 電話: 0800 91 4912</p>	
アジア太平洋	
<p>IBM Hong Kong Limited Silvercord Tower 2 Room 907 30, Canton Road Tsim Sha Tsui Kowloon Hong Kong SAR, China 電話: +852 8201 0823 FAX: +852 8201 0832</p>	<p>IBM Australia and New Zealand 60 Southgate Ave Southgate VIC 3006 Australia (オーストラリア) 1800 69 CORE (ニュージーランド) 0800 69 CORE</p>

IBM にお客様のご意見をお寄せください

ご意見は以下の住所にお送りください。

IBM Bay Area Lab
1001 E Hillsdale Boulevard
Foster City, California 94404
USA

以下に示す方法のいずれかによって、電子的にご意見をお寄せいただくことができます。

フリー・ダイヤル
1+866-493-2673

サポート・センター:
<https://support.ibmcloud.com>

World Wide Web:
www.ibm.com/marketing-solutions/

ご意見またはコメントには以下の情報を必ず記載してください。

- 本書のタイトル
- ご意見に関連するページ番号またはトピック

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

サポート

サポート・センター

サポート・サイトには、<https://support.ibmcloud.com> からアクセスできます。また、アプリケーション・メニュー・バーにある「サポート」リンクをクリックしてアクセスすることもできます。

サポート・センターのサイトには、以下が含まれています。

- **検索可能な知識ベース:** 質問に対する回答を得たり、基本的な資料 (実装ガイド、指標用語集、ユーザー・ガイド、リリース・ノートなど) に簡単にアクセスしたりできます。
- **研修ツール:** Web ベースのトレーニングやアーカイブ済みのオンライン・セミナーなど。
- **マーケティング情報:** ケース・スタディー、ホワイト・ペーパー、および今後のイベント (クライアント・サミットなど) が含まれています。
- **通知:** サポートからの通知です。
- **問題のトラッキング:** チケットの作成からその問題の解決までを追跡し、お客様のお問い合わせ状況を詳細に把握できるようにします。
- **フィードバック:** サポート・サイトの改善に関するお客様からのご提案を受け付けています。(アプリケーションに関するフィードバックを、cm_feedback@us.ibm.com までお寄せください)。
- **チャット:** IBM の ベスト・プラクティス担当者がすぐに対応します。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒 103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町 19 番 21 号

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス 渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。 IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBMは予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書においてIBM以外のWebサイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらのWebサイトを推奨するものではありません。それらのWebサイトにある資料は、このIBM製品の資料の一部ではありません。それらのWebサイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBMは、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム(本プログラムを含む)との間での情報交換、および(ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Director of Licensing IBM Corporation
North Castle Drive, MD-NC119
Armonk, NY 10504-1785 US

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM所定のプログラム契約の契約条項、IBMプログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBMより提供されます。

記載されている性能データとお客様事例は、例として示す目的でのみ提供されています。実際の結果は特定の構成や稼働条件によって異なります。

IBM以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBMは、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBMの将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

表示されているIBMの価格はIBMが小売り価格として提示しているもので、現行価格であり、通知なしに変更されるものです。卸価格は、異なる場合があります。

本書はプランニング目的としてのみ記述されています。記述内容は製品が使用可能になる前に変更になる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBMに対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従ってIBMは、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBMは、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生的創作物にも、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。

このコードの一部は、IBM Corp. のサンプル・プログラムから取られています。

商標

IBM、IBM ロゴ、および ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、www.ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。

製品資料に関するご使用条件

これらの資料は、以下のご使用条件に同意していただける場合に限りご使用いただけます。

適用される条件

IBM Web サイトの「ご利用条件」に加えて、以下のご使用条件が適用されます。

個人使用

これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、非商業的な個人による使用目的に限り複製することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずに、これらの資料またはその一部について、二次的著作物を作成したり、配布（頒布、送信を含む）または表示（上映を含む）することはできません。

商業的使用

これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、お客様の企業内に限り、複製、配布、および表示することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずにこれらの資料の二次的著作物を作成したり、お客様の企業外で資料またはその一部を複製、配布、または表示することはできません。

権利

ここで明示的に許可されているもの以外に、資料や資料内に含まれる情報、データ、ソフトウェア、またはその他の知的所有権に対するいかなる許可、ライセンス、または権利を明示的にも黙示的にも付与するものではありません。

資料の使用が IBM の利益を損なうと判断された場合や、上記の条件が適切に守られていないと判断された場合、IBM はいつでも自らの判断により、ここで与えた許可を撤回できるものとさせていただきます。

お客様がこの情報をダウンロード、輸出、または再輸出する際には、米国のすべての輸出入 関連法規を含む、すべての関連法規を遵守するものとします。

IBM は、これらの資料の内容についていかなる保証もしません。これらの資料は、特定物として現存するままの状態を提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されます。

プライバシー・ポリシーに関する考慮事項

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品（「ソフトウェア・オファリング」）では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。Cookie とは Web サイトからお客様のブラウザーに送信できるデータで、お客様のコンピューターを識別するタグとしてそのコンピューターに保存されることがあります。多くの場合、これらの Cookie により個人情報が収集されることはありません。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的事項をご確認ください。

このソフトウェア・オフリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、お客様の利便性の向上、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名、およびその他の個人情報を、セッションごとの Cookie および持続的な Cookie を使用して収集する場合があります。これらの Cookie は無効にできますが、その場合、これらを有効にした場合の機能を活用することはできません。

Cookie およびこれに類するテクノロジーによる個人情報の収集は、各国の適用法令等による制限を受けません。この「ソフトウェア・オフリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、個人情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンド・ユーザーへの通知や同意取得の要求も含まれますがそれらには限られません。

お客様は、IBM の使用にあたり、(1) IBM およびお客様のデータ収集と使用に関する方針へのリンクを含む、お客様の Web サイト利用条件 (例えば、プライバシー・ポリシー) への明確なリンクを提供すること、(2) IBM がお客様に代わり閲覧者のコンピューターに、Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置することを通知すること、ならびにこれらのテクノロジーの目的について説明すること、および (3) 法律で求められる範囲において、お客様または IBM が Web サイトへの閲覧者の装置に Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置する前に、閲覧者から合意を取り付けること、とします。

このような目的での Cookie を含む様々なテクノロジーの使用の詳細については、IBM の『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』(<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>) の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』を参照してください。

